

# 初診時切除不能膵癌に対する非手術療法奏功後の外科切除の有用性 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年10月1日～2020年12月31日

〔研究課題〕 切除不能膵癌に対する非手術療法奏功後の外科切除の有用性に関する検討

〔研究目的〕 切除不能膵癌の予後は概ね1年未満と極めて不良です。近年、抗がん剤(化学療法)および放射線療法の進歩により腫瘍縮小や腫瘍マーカー低下などの奏功例を経験するようになりましたが、これらの奏功例に対して外科切除を行うことにより生存期間が延長するかは不明です。本研究では初診時切除不能膵癌を対象に臨床病理学的因子を収集し、生存分析および予後因子解析を行い、外科切除の有用性を検討することを目的としています。

〔研究意義〕 初診時切除不能と診断された膵癌患者さんに手術が行われることはこれまでありませんでしたが、抗がん剤が効いた患者さんに対する手術で予後延長することが証明されれば、新たな治療選択肢となることが期待されます。

〔対象・研究方法〕 帝京大学医学部附属病院にて2010年6月から2016年12月の間に抗がん治療を行った膵がん症例219例を対象として、治療法別の治療成績を統計学的手法を用いて比較検討します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院 外科

〔個人情報の取り扱い〕 本研究で患者様のデータを取り扱う際は、個人情報保護に十分配慮します。研究の成果を公表する場合は、患者様を特定できる情報を含まないようにし、本研究の以外の目的で患者様のデータを使用することはありません。

〔その他〕 本研究は後ろ向きの観察研究であり、患者様に費用負担および健康被害は生じません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 和田慶太

所 属 : 帝京大学医学部外科学講座

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 7137 ]